



菊武学園フラッシュニュース

交通安全や防犯を呼びかけ 高山選手が1日警察署長



ボクシング
WBO ミニマム
級世界王者で、
菊華高校3年の
高山勝成選手が、
1月14日、
守山警察の一日
署長を委嘱され

イトーヨーカドー尾張旭店で交通安全や防犯の大切さを来店者らに訴えました。

警察官の制服姿に身を包んだ高山選手は、大矢守山警察署長から委嘱状を手渡され、やや緊張気味に「頑張ります」と“宣誓”。イベント会場では、遠征先の国々の交通事情を紹介し、観客に交通ルールを守るよう呼びかけました。

クイズショーでは、愛知県内の交通事故件数や自転車盗難の数を出題、会場を盛り上げました。1日署長を立派に務めた高山選手には、守山署から感謝状が贈られました。

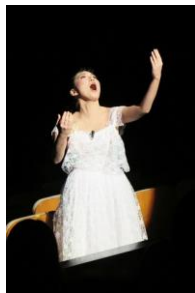
歌、踊り、演奏のパフォーマンス 菊華高校アクトの卒業公演



菊華高校アクト系クラスの第3回卒業公演が、1月20日、名古屋市守山文化小劇場で開かれました。



「DREAM CAT-CHER～音楽の島～」をテーマに、2クラスの生徒50名が歌、踊り、楽器演奏などを披露



しました。すばらしいパフォーマンスに、後輩の生徒、保護者らから盛んに拍手と歓声があがりました。

全員による躍動感あふれるダンスで幕開けた1部は、ソロや2、3名のグループごとに、3年間、学んだ歌唱力を発揮。2部は、生徒15名が背筋を伸ばしたモデルウォーキングをはじめ、数々のダンスなどを発表し会場をわかしました。山岸校長は「生徒の成長に感動した」と喜んでいました。

菊武学園キャップ寄付活動

累計 584 万個・ワクチン 7083 人分達成

(2017・1・20 現在)

学園内や近隣の皆様のご協力で集まったペットボトルのキャップは、名古屋市北区の処理業者に依頼、日本委員会 (JCV) (本部・東京) に直接、ワクチン代として寄付しています

6つの学術交流や国際高大連携協定を結ぶ 台湾の2大学1高校などとネットワーク構築

一名古屋産業大と菊華高校合同の国際交流推進チーム

高木弘恵理事長・学長を団長とする名古屋産業大学と菊華高等学校合同の国際交流推進チーム (7名) は、2016年12月26日から5日間、台湾各地の7大学・高校などを協定締結や親善訪問で訪れました。2大学と1高校とは、学術交流、国際交流など6つの協定を交わし、大きな成果を上げました。

台湾中部の国立聯合大 (蔡東湖学長) と名産大は、学生交換2名など「学術」「交換留学」「環境教育」の3つの協定に調印。苗栗県の建臺高校 (劉錦志理事長) と名産大・菊華高校は、それぞれ「国際高大連携」と「国際交流」の協定を交わし、双方の教職員、生徒の交流や情報交換を推進します。

現地企業と海外インターンシップ提携も確認

また、台湾高雄市の観光教育に力を入れている国立高雄餐旅大 (林珣秀校長) では、インターンシップや学生交流などについて協議。「長虹プラスチック有限公司」や「福華大飯店」とは、名産大の海外インターンシップの提携も話し合い、協力を確認しました。育民高校などの2野球部と菊華高野球部との合同練習についても話し合いました。高木理事長は「今回の訪問では、幅広いネットワークを構築することができました」と話しています。



(聯合大と協定書を交わす高木学長)



(菊華高校初の国際協定が結ばれる)



(育達科技大学とも新たな協定を結ぶ)

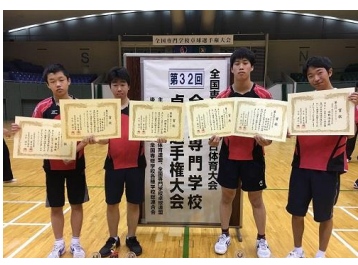
名産大が長距離上位制す 西日本スピードスケート競技会



(左から石垣、高野、山田の各選手)

名産大スケート部の3選手が2016年12月30日、岐阜県恵那市で開催された西日本スピードスケート競技会の一般男子 (高校、大学、社会人) 5000m で高野晃生選手 (1年) が優勝、3000m と 500m では山田拓夢選手 (1年) が2位、5位に入る活躍をしました。石垣賢汰選手 (2年) は 500m で6位に入りました。

全国選手権で上位独占 菊専卓球部が大活躍



(右から水野、繁田、伊藤、左の各選手)

菊武ビジネス専門学校の卓球部が、2016年12月、東京で開かれた全国専門学校卓球選手権の男子ジュニア・シングルで、伊藤大地選手 (3年) が優勝、左家成選手 (1年) が準優勝、繁田蒼月夜 (3年) と水野伶音 (1年) の2人が3位に入り、男子ダブルスでも繁田・水野組が3位を獲得しました。

芥川賞作家、諏訪さん講演 読書の大切さを語る

菊武学園の新年研修が1月7日、文化センターで開かれ、芥川賞作家の諏訪哲史さん=写真=を講師に招き、「変化の時代を生き抜くための読書」をテーマに話を聞きました。



「孤独」をキーワードに、自身の読書遍歴、文学や読書に対する考え、自分と出会った本といかに立ち向かうかを、ユーモアも交えて話されました。

講演に先立ち、高木弘恵理事長が年頭の挨拶で、「来年秋、学園は創立70周年を迎えます。教育改革を果敢に進め、大きく前進しよう」と訴えました。

名古屋東消防署から感謝状 — 菊武ビジネス専門学校



名古屋東消防署から感謝状を贈られました。南海トラフ巨大地震をはじめとする災害への備えのためです。

菊武ビジネス専門学校は、名古屋市と災害時などに、2号館貯水タンク (16立方m) の水提供の協定を結び、